

岩手県教育委員会
教育長 佐藤一男様

要望書

令和7年12月11日

花巻商工会議所 会頭 高橋 豊

「第3期県立高等学校再編計画」における花北青雲高等学校情報工学科募集停止の見直しに関する要望

岩手県教育委員会は、本年8月に「第3期県立高等学校再編計画（当初案）」を公表し、その中で中部地区の高校再編の方向として、花北青雲高等学校については令和10年度に情報工学（工業）科を募集停止とすることとされておりました。

花巻市内の高校に通う生徒が就職を検討するにあたっては、とりわけ地元志向が強いと伺っておりますが、花北青雲高等学校情報工学科で学んだ生徒達も例外ではなく、特に市内製造業や建設業へは毎年一定数が就職しております。日本中の企業が人材獲得に苦慮している中、まさに両業界にとっては貴重な「人財」の供給元となっており、そうしたことからも、上記当初案が公表されてから折りに触れ、会員企業をはじめ地域事業者の皆様が、県教育委員会が示した花北青雲高等学校情報工学科の募集停止案に強く反対してきたところですが、残念ながら本年11月に公表された同計画（修正案）においても、令和10年度募集停止の方向性の見直しはされなかったところです。

人口減少、少子高齢化社会においては、今後も働く人材の不足は継続するものと容易に推察されるところですが、このことは市内経済界においてもまさに死

活問題と言える現状にあり、そうした中、花北青雲高等学校情報工学科の募集停止はさらに大きな痛手となるものであります。

よって、花巻市の経済界を代表し、以下のとおり要望いたします。

要 望 項 目

県立高等学校再編計画における工業系高校のセンタースクール化を見直し、花北青雲高等学校情報工学科を存続すること

【具体的な内容】

花巻市の高校生が就職を検討するにあたっては、以前より地元志向が強く、花北青雲高等学校情報工学科の卒業生においても、近隣高校の工学系学科の卒業生と比較し地元企業への就職を希望する傾向にあり、多年にわたり実績を積み重ねてきております。市内企業の多くが採用に苦慮する中、同学科の廃止はまさに貴重な人材獲得の機会をさらに困難とし、大きな痛手となるものであります。

また、県南地域を中心に半導体や自動車関連産業が発達していることはすでに承知しておりますが、花巻市内にはそれらに限らず多様なものづくり企業が立地しており、同学科を廃止することは市内高校生が就職を検討する際の選択肢を狭めることになりかねないと考えます。

さらには、工業系の学科を志す中学生が必ずしも多いとは言えない中、花北青雲高等学校情報工学科を廃止することは、結果的に未来のものづくり人材の学習機会を奪うことにもなりかねません。同学科はこれまで約20年の歴史を積み重ねてまいりましたが、これからも闊達な校風や優れた学習環境の中、地域企業の学習支援を受けながら学びを深めることが生徒たちの大きな成長につながるものと考えます。

以上のことから、ここに花巻地域の経済界を代表し、「花北青雲高等学校情報工学科」の存続を強く要望するものです。

令和7年12月11日

花巻商工会議所 会頭 高橋 豊